

COMPASS

学習院大学通信

第40号

2009.1.13

◆編集発行◆

学習院大学学生部 東京都豊島区目白1-5-1

CONTENTS

- 1- 第59回 四大学運動競技大会
平成20年度「学生の提言」受賞者決定
- 2- 「学生の提言」優秀賞受賞作品紹介
- 6- 学長表彰
平成19年度学習院父母会課外活動等優秀賞
- 7- 学生生活アンケート(意見・要望)の集計結果
- 8- 平成20年度学年末試験について
- 9- 各部署からのお知らせ
- 14- 図書館だより
- 15- 学芸員資格取得事務室からのお知らせ
史料館からのお知らせ
保健室だより
- 16- 卒業式・入学式の日程
課外活動レポート(アーチェリー部)
学生相談室

第59回四大学運動競技大会「総合優勝」達成！！

10月24日から26日まで、武蔵大学において、第59回四大学運動競技大会が開催されました。正式種目・一般種目共に第1位の成績をおさめ、総合優勝を成し遂げました。本年度は第2位の成蹊大学に20.5点という大差をつけての優勝でした。通算では48勝目となります。第60回大会は平成21年10月16日～18日に成城大学で開催されます。学生さんのますますのご健闘を祈ります。

関係者の皆様、お疲れ様でした。

第59回 四大学運動競技大会得点表

	学習院	成 蹊	武 蔵	成 城
総合得点 (順位)	155.5 (1位)	135.0 (2位)	108.0 (4位)	109.5 (3位)
正式種目得点 (順位)	110.5 (1位)	96.0 (2位)	67.0 (3位)	66.5 (4位)
一般種目得点 (順位)	45.0 (1位)	39.0 (4位)	41.0 (3位)	43.0 (2位)
教職員種目得点 (順位)	5.0 (3位)	6.0 (1位)	6.0 (1位)	3.0 (4位)

※ 教職員種目の得点は総合得点に含まれません



平成20年度「学生の提言」受賞者決定

—— 優秀賞 法学部政治学科 4年 田形博太郎さん ほかに佳作2点

本年度の「学生の提言」は、「大学における省エネルギー」というテーマで募集を行ったところ、6点の応募がありました。応募のあった論文について、学長、学生部長、教務部長、学生部委員によって厳正な審査が行われ、優秀賞1作品、佳作2作品が下記のとおり決定しました。受賞者には、学長から賞状、ならびに学生部長から副賞が授与されました。



授賞式後、学長・学生部長と記念撮影
左から川島さん、田形さん、大上さん、田中さん

受賞者(敬称略)

- 1. 優秀賞
法学部政治学科 4年 田形 博太郎
- 2. 佳作
法学部政治学科 3年 大上 茉莉
法学部政治学科 3年 田中 理美
法学部法学科 2年 川島 彩加



『大学における省エネルギー』

法学部政治学科4年 田形 博太郎

I. はじめに

「バタフライ効果」という言葉をご存知だろうか。米国の気象学者エドワード＝ローレンツの講演名に由来する言葉であり、この言葉は「初期条件のわずかな差が、時間とともに拡大して結果に大きな違いをもたらすこと」を意味している。昨今、環境問題は、我々が早急に対応すべき課題として認知されて久しいが、それでも我々は環境問題をどこか他人事のように捉えてしまっていないだろうか。海面の水位が上昇することも、排気ガスで空が灰色に染まることも、我々が生きる「今」ではない「未来」の出来事として、その対策を講じることから目を背けてしまっていないか。即座に目に見える効果が表れなくとも、今、出来ることをするのとしなないのでは、未来の結果が大きく異なってくるということを我々は認識すべきである。その点で、省エネルギー活動は、今から取り組み始めて過ぎるということはない取り組みであると私は考える。

本論のテーマは、「大学における省エネルギー」であるが、そもそも「省エネルギー」とは何だろうか。私が初めにイメージしたのは、節電や節水といった具体的なエネルギー削減活動である。それならば、本学でも既に、省エネルギー推進委員会を中心として様々な「省エネルギー」活動を実践済みである。しかし、それらは果た

して、「大学」でしか出来ない「省エネルギー」活動であるのだろうか。それらの実利的な取り組みは、企業や一般家庭でも実践出来はしないだろうか。

本論では、「大学」という存在にしか出来ない「省エネルギー」活動は何かを提言することを目指した。概要は以下の通りである。

Ⅱ節では、国際社会における省エネルギーに対する取り組みの現状を分析し、「大学」が所属する「日本」という国家が、国際社会に対して出来ることは何かを考えた。その結果、日本は世界において環境問題を主導するリーダーとしての役割を担うことが望ましいという結論に至った。

続く、Ⅲ節では、リーダー国としての地位を望む前に、日本に住まう我々日本人自身が、果たしてその名に相応しい環境意識を持ちえているのかを種々のデータを元に分析した。その結果、残念ながら今の我々では、リーダー役を買って出るには、いささか身分不相応であるということが解った。

Ⅱ節・Ⅲ節での結論を踏まえた上で、最後のⅣ節において「大学の省エネルギー」とは何かを、本論の結論として提言したい。

Ⅱ. 国際社会における「省エネルギー」

2008年7月7日。北海道洞爺湖にて、G8サミットが開かれた。三日間に及ぶ会合の中、各国首脳は、今後の地球社会の在り方について積極的な議論を交わしたことだろう。グローバル化が進行した現在、この地球に存在する諸問題の多くは、一国の力では到底解決し得ないまでに複雑化してしまっている。環境問題も例に漏れず、それぞれの国の政治や経済問題と絡まりあって、最早その原因の発端を探ることは困難であるといえる。責任の所在が曖昧になったことで、環境問題はどの国もが共通して責任を負わなければならない問題へと発展してしまったのだろう。

そのような状況にあって、一国だけが、熱心に環境保全活動に取り組んだとしても、どこかの国がエネルギーの浪費を行えば、折角の個々の取り組みも無駄に終わってしまう。地球という一つの球体の中で暮らす我々にとって、環境問題は、地続きならぬ、空続きの問題として、国際社会全体で課題解決に臨む必要があるのだ。

その点を踏まえ、本節では先ず、「日本」や「大学」といった小さなアクターが、国際社会でどうするべきかを考える為の前提として、「国際社会」そのものが「省エネルギー」をどのように捉え、実現に向けて取り組んでいるのかを幾つかのデータを元に分析したい。

先ず、本論では、「省エネルギー活動」が、地球温暖化などの環境問題の悪化防止を目的としていると仮定する。その上で、各国の温暖化防止に向けた具体的達成目標である国際的枠組「京都議定書」を例にして、国際社会の省エネルギー活動の実際を探ってみる。

京都議定書は、1997年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）において採択、2005年に発効された。温室効果ガスの排出量を2008年から2012年までの第一約束期間において先進国全体で1990年レベルと比べて少なくとも5%削減するため、附属書Ⅰ国（先進国及び市場経済移行国）の温室効果ガス排出量について、法的拘束力のある数値目標を各国毎に設定（*1）している。

京都議定書の評価すべき点であり同時に課題でもある点は、附属書Ⅰ国以外の国は削減義務の対象外となっている点である。これは、発展途上国が先進国と同様の削減義務を負うことは不公平であると

の主張を考慮した上での措置だろう。理想を言えば、先進国・発展途上国の区別なく環境対策に取り組むべきであるのだろうが、既に自国において発展の歓びを享受した先進国が、今後は地球全体の利益の為に、発展途上国の開発を妨げる権利はないともいえる。事実、世界各国の二酸化炭素排出量の削減率を、京都議定書が発効される2005年より以前の1990年と比較したデータを見てみると、当時の日本を含めた先進国の主張が、如何に説得力に欠けたものであったのか解る。

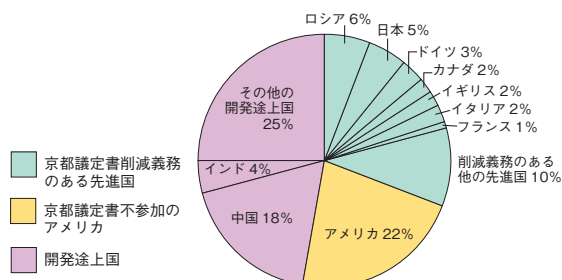
国名	1990年	2005年	削減率（±）
ロシア ★	2,189	1,544	-29.5%
ドイツ ★	968	814	-15.9%
イギリス ★	558	530	-5.0%
フランス ★	355	388	+9.3%
日本 ☆	1,144	1,292	+12.9%
イタリア ★	398	454	+14.0%
アメリカ ★	4,851	5,817	+19.9%
カナダ ★	429	549	+27.9%
インド	587	1,148	+97.6%
中国	2,244	5,101	+127.3%

図表①：主要国のCO₂排出量と削減率（単位：百万t）

『世界統計白書 2005年度版（p.68）』、『環境省 2006年度温室効果ガス排出量速報値』のデータを元に作成

図表①は、G8参加国と、近年急速に発展を続ける中国とインドの2カ国を合わせた、計10カ国の1990年と2005年の二酸化炭素（CO₂）排出量を比較したものである。京都議定書が発効される2005年までの間に、二酸化炭素排出量を削減した先進国は僅かに3カ国であった。総排出量の増減に関しては、排出量そのものがそれぞれの国家規模に依拠するものであるため、今回は問題にはしないが、削減率を見ると発展途上国にエネルギー利用の効率化や温室効果ガスの削減を声高に訴える先進国が、自らにその課題を課すことが出来ていなかったことが解る。先進国が自ら改善活動に努め、成功の先例を示すことが出来てはじめて、発展途上国に対し京都議定書が説得力を持つことになるだろう。その意味で、附属書Ⅰ国以外の国は削減義務の対象外となっている点は、2012年までの短期目標であることも考慮に入れば、評価すべき措置であると考えられる。

ちなみに、京都議定書発効後の2006年度の日本の二酸化炭素排出量は、温室効果ガス全体では3%の増加(1,359t)を許してしまったが、二酸化炭素のみの排出量では1,275tと、前年度から17tの削減に成功している。2012年までのおおまかな目標値、1,100t(全体では1,200t)までの道のりはまだまだ遠いが、僅かながらも二酸化炭素排出量を削減したという事実があれば、日本が国際社会で為すべきことも見えてくるだろう。日本が為さねばならないことは、削減実績を積み重ね、京都議定書に世界各国の支持を集めることであるが、その為にはまず、大きな壁を乗り越えなければならない。その壁とは、先進国アメリカがこの取り組みに参加していないという現状である。



図表②: 2007年度 世界のエネルギー起源二酸化炭素排出量
[環境循環型社会白書 平成20年度版 (p.2)]より作成

図表②は、2007年の世界のエネルギー起源二酸化炭素排出量の主要各国が占める割合を示したものである。現在、削減活動に取り組んでいる国の排出量が全体に占める割合は、数十カ国合わせてもわずか31%足らずである。それに対し、アメリカは一国で世界全体の22%もの排出量を占めている。本節の冒頭でも述べたように、環境問題は、国際社会全体で課題解決に臨む必要がある問題である。それぞれの国の努力を無に帰さない為にも、排出量の割合で、世界のトップに位置するアメリカを京都議定書の枠組みに参加させることは、今後の地球環境を考える上で、必要不可欠である。

そこで、我々日本が為すべきは、アメリカに京都議定書の批准を積極的に促す役目を引き受けることであると考える。かつての小泉政権で日本は、アメリカのブッシュ政権と蜜月関係と言われるまでに強固な友好関係を構築した。つまり、我々は「友人」の一人として、アメリカに省エネルギー活動への参加を促す義務があるのではないだろうか。諦めずに粘り強く勧誘活動を続けることもまた、国際社会における日本の「省エネルギー」活動であると私は考える。

だが、説得をするにあたっては、日本がアメリカよりも積極的に省エネルギー活動に取り組んでいることを証明する必要があるだろう。

順位	国名	EPI	順位	国名	ESI
1	スイス	95.5	1	フィンランド (4)	75.1
2	ノルウェー	93.1	2	ノルウェー (2)	73.4
3	スウェーデン	93.1	3	ウルグアイ (36)	71.8
4	フィンランド	91.4	4	スウェーデン (3)	71.7
5	コスタリカ	90.5	5	アイスランド (11)	70.8
6	オーストリア	89.4	6	カナダ (12) ★	64.4
7	ニュージーランド	88.9	7	スイス (1)	63.7
8	ラトヴィア	88.8	8	ガイアナ (108)	62.9
9	コロンビア	88.3	9	アルゼンチン (38)	62.7
10	フランス ★	87.8	10	オーストリア (6)	62.7
12	カナダ ★	86.6	30	日本 (21) ☆	57.3
13	ドイツ ★	86.3	31	ドイツ (13) ★	56.9
14	イギリス ★	86.3	33	ロシア (28) ★	56.1
21	日本 ☆	84.5	36	フランス (10) ★	55.2
24	イタリア ☆	84.2	45	アメリカ (39) ★	52.9
28	ロシア ★	83.9	65	イギリス (14) ★	50.2
39	アメリカ ★	81.0	69	イタリア (24) ★	50.1
105	中国	65.1	101	インド (120)	45.2
120	インド	60.3	133	中国 (105)	38.6
149	ニジェール	39.1	146	北朝鮮 (-)	29.2

【左】図表③: 2008年度 国別 EPI / 環境パフォーマンス指数順位

The 2008 Environmental Performance Index (<http://epi.yale.edu/Contents/>)
[Country scores] (<http://epi.yale.edu/CountryScores.2008/09/24/>)より作成

【右】図表④: 2005年度 国別 ESI / 環境持続可能指数順位 (括弧内は EPI での順位)

The 2005 Environmental Sustainability Index (<http://www.yale.edu/esi/>)
[Main Report] (http://www.yale.edu/esi/ESI2005_Main_Report.pdf.2008/09/24/) p4,5より作成

図表③、④は、その指標として、日本がアメリカよりも、省エネルギー活動を含む環境問題への取り組みに対し、世界から一定の評価を得ていることを示すものである。

それぞれの図を説明すると、左の図表③は、EPI (Environmental Performance Index / 環境パフォーマンス指数) と呼ばれる環境指数の一つを調査したもので、各国の環境問題への取り組み具合を数値化し判断しようとしたものである。調査は、米国のコロンビア大学とエール大学が共同で行った。

2008年度のEPI調査では、149カ国を対象とし、6つの政策カテゴリー (①環境の健全性、②大気汚染、③水資源、④生物多様性と生息地、⑤天然資源の生産、⑥気候変動) に分類される25の指標を元にEPIを算出、各国の順位付けを行っている。2008年度における上位10カ国と、その他主要国の順位は図表の通りであるが、日本は149カ国中21位、G8諸国の中では、5番目と目立った評価は得ていない。

続いて、右の図表④は、参考資料としては2008年度のEPI調査よりも過去のものになるが、こちらも同じくエール大学とコロンビア大学の共同プロジェクトで、各国のESI (環境持続可能指数) を調査したものである。調査結果は、世界経済フォーラム (ダボス会議) にて発表された。ESIは、今後20~30年にわたる各国の環境保護能力を表した値であり、2005年度のESI調査では、146カ国を対象とし、5つの焦点課題 (①環境システム、②環境負荷の低減、③環境負荷に対する人的脆弱性の低減、④環境変化に対する社会的・制度的対応力、⑤国際的責任能力) に分類される21の指標を元にESIを算出、各国の順位付けを行った。2005年度における上位10カ国と、その他主要国の順位は図表の通りである。

調査年度の違いはあるが、両者の調査結果を比較すると、EPIよりもESIの調査では、日本は総合的な順位は下げているもののG8諸国の中ではカナダに続いて2番目にESIが高いという結果が出ている。また、EPIとESIのどちらの値においても、日本はアメリカよりも高順位に位置している点にも注目したい。一番のお手本になれるとまでは言わないにしても、持続可能な社会の実現を目指す国の一手本として、日本はアメリカに対して、ある程度の助言や意見を許される立場にあるのではないかと私は思う。しかし、理詰めで一方的に従わせようとすることは現実的ではないだろう。それよりも、日本の技術や知識を現地に導入し、京都議定書の実現可能性に気付かせることが、京都議定書へのアメリカの参加を促す上で必要なことのように思う。

ここまで、日本が国際社会において為すべき「省エネルギー」活動として、京都議定書へのアメリカの支持を取り付けることを述べてきたが、同時に実践しなければならないのは、2013年以降、排出量の増加が著しい中国やインドといった発展途上国にも何らかの環境規制に同意して貰わねばならないということである。発展途上国の国々に日本が出来ることとして考えられるのは、アメリカのケースと同じく、現地への日本の環境技術の移転が最も望ましいだろう。エネルギー効率の改善に焦点を当てるならば、日本の石炭火力発電効率が現地で普及すれば、日本一国分の排出量にあたる13億tの二酸化炭素の削減が可能だという。(*2)

つまり、日本が国際社会において実践すべき「省エネルギー」活動とは、アメリカに限らず世界各国の手本となれるような、技術イノベーションを積極的に推進し、それを世界各国へと輸出することで、環境問題において他の国々を先導する「環境リーダー」としてのポジションを獲得すべく、行動することであると考ええる。

Ⅲ. 日本社会における「省エネルギー」

前節において、日本は、環境問題において他の国々を先導する環境リーダーになるべく行動すべきだと私は主張した。だが、「日本」という国家を、「技術」というハード面からリーダーとして評価して貰えたとして、果たしてその中で暮らす我々日本人一人一人は、世界の人々から環境リーダーとして信頼され、見習われるに足る人間なのだろうか。

本節では、「日本社会における省エネルギー」と題しているが、具体的な取り組み等を紹介するのではなく、日本人の「省エネルギー」に対する意識を、幾つかの統計結果を元に分析することで、日本人が環境リーダーの器として相応しいのかどうかを判断したい。

図表⑤は、2006年3月に博報堂生活総合研究所が行ったアンケート調査の結果である。首都圏と阪神圏に住む18歳以上の男女を対象としたWebサイト型アンケートで、男女計520名からの有効回答が得られた。図表⑤は、「関心の高い環境テーマは何か」を質問とし、得られた回答の上位10項目の内、5位までを抜粋したものである。

テーマ	男性	女性	全体
地球温暖化	80.0	82.7	81.4
ゴミの増大	59.2	68.1	63.7
リサイクルの推進	56.2	56.2	56.2
大気汚染	58.1	53.5	55.8
省エネルギー	53.8	55.8	54.8

図表⑤：関心の高い環境テーマ（単位：％）

『アンケート調査年鑑 2007 年度版（p.1048）』より作成（*3）

この表から、我々日本人の多くは「地球温暖化」という大枠では環境問題に関心を寄せているものの、より詳細な問題や取り組みの話題となると、関心が薄いということが解る。地球温暖化を防ぐ一つの手段として、5位の「省エネルギー」は、「地球温暖化」の話題とセットで関心が寄せられていてもいいテーマだと思うが、両者の間には、関心の程度にかなりの差が存在する。実際、5位以下には、「ダイオキシンの環境ホルモンなどの有害物質による汚染（6位）」、「クリーンエネルギーの開発・実用化（9位）」など、より具体的な環境テーマが並んでいる。つまり、日本人は、世界の環境問題を憂いていながらも、具体的にどのような活動を行うべきだという共通意識のようなものを持っていないのではないかと考えられる。

この考えは、別のアンケート結果からも推測することが出来る。同じく、博報堂生活総合研究所が行ったアンケート調査で、世界各国の環境問題への意識・行動実態を探ることを目的に、2008年3月、世界8都市（東京、ニューヨーク、トロント、ロンドン、フランクフルト、パリ、ミラノ、モスクワ）に生活する2,600人（*4）に対して調査が行われた。

都市名	A	B
東京	90.2	9.8
ニューヨーク	66.7	33.3
トロント	78.0	22.0
ロンドン	75.3	24.7
フランクフルト	64.7	35.3
パリ	73.0	27.0
ミラノ	74.7	25.3
モスクワ	72.7	27.3
8都市平均	74.4	25.6

A：自国は、「環境保護」にもっと目を向けるべきだ
B：自国は、「経済発展」にもっと目を向けるべきだ

図表⑥：『アンケート調査年鑑 2008 年度版（p.893）』より作成（単位：％）（*4）

図表⑥は、その調査結果の一つであるが、自国が優先させるべき課題として、「環境保護」と「経済発展」のどちらを優先すべきかを問う質問に対し、東京では、およそ9割の人が、「経済発展」よりも「環境保護」にもっと目を向けるべきだと回答している。「環境保護」を重視する回答の8都市の平均が、74.4％であるから、東

京に暮らす人々が如何に環境問題に対して高い問題意識を持っていることが解る。しかし、次のデータを見てみると、抽象的にしか環境問題を捉えられていない日本（東京）の現状が見えてくる。

Q：自分の毎日の生活が地球環境にどのような影響を与えているか理解している

都市名	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる（計）
東京	8.6	52.2	60.8
ニューヨーク	36.3	45.0	81.3
トロント	48.7	42.3	91.0
ロンドン	39.3	47.7	87.0
フランクフルト	35.7	47.7	83.4
パリ	35.7	42.7	78.4
ミラノ	22.7	53.0	75.7
モスクワ	32.3	38.7	71.0
8都市平均	32.4	46.2	78.6

図表⑦：『アンケート調査年鑑 2008 年度版（p.894）』より作成（単位：％）（*4）

図表⑦から、日本人は、「環境問題」を憂いていながらも、自分達の行動がどれだけの影響を環境に与えているかということの具体的なイメージを持っていないことが解る。これは、例えるなら、「環境対策をなんとかしなければ」と外では声高に叫びつつ、家で電気や水道を無意識に使いつづけているようなものである。何が悪いのかを理解していない点で、一見すると罪が無いようにも思えるが、仮にも環境への問題意識が他国に比べて一番高いというのなら、我々は口だけでなく行動にも責任を持たなければならないだろう。

だが、実際にはそれも難しいようである。次の図表⑧、図表⑨を見ると、環境対策とは言っても、具体的に何をすれば良いのか解らずに戸惑う我々の姿が映し出されている。

Q：地球温暖化防止の為に自分がいつ、どこで、どのように行動すべきか理解している。

都市名	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる（計）
東京	8.2	48.0	56.2
ニューヨーク	28.3	49.7	78.0
トロント	35.7	50.7	86.4
ロンドン	33.3	54.0	87.3
フランクフルト	24.3	48.3	72.6
パリ	32.0	50.0	82.0
ミラノ	17.3	50.7	68.0
モスクワ	13.0	42.3	55.3
8都市平均	24.0	49.2	73.2

図表⑧：『アンケート調査年鑑 2008 年度版（p.894）』より作成（単位：％）（*4）

Q：地球環境に配慮した行動が、日常的な習慣になっている。

都市名	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる（計）
東京	11.8	46.6	58.4
ニューヨーク	32.7	39.3	72.0
トロント	46.3	42.0	88.3
ロンドン	40.0	40.7	80.7
フランクフルト	31.3	44.7	76.0
パリ	46.7	39.3	86.0
ミラノ	43.3	46.3	89.6
モスクワ	29.7	38.7	68.4
8都市平均	35.2	42.2	77.4

図表⑨：『アンケート調査年鑑 2008 年度版（p.894）』より作成（単位：％）（*4）

図表⑧、⑨から明らかになるのは、具体的に地球環境に配慮した行動が何であるのかを理解し、日常習慣としてそれに取り組むことが出来ている日本人（東京人）は、他国に比べて少数であるということである。ただ、両図表ともに、「ややあてはまる」という回答項目には、他国の平均値と同程度の回答数を得られていることから、実際には環境に配慮した行動を実践しているにも関わらず、自らのその行動を「あてはまる」と断言出来ずにいるだけなのかもしれない。しかし、次の図表⑩から判断するに、我々は、実際に省エネルギー活動の実践には消極的であるのだろう。

Q：地球温暖化防止の為に現在の便利な生活を犠牲にしたいくない。

都市名	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる (計)
東京	4.4	37.2	41.6
ニューヨーク	8.3	25.3	33.6
トロント	4.7	22.7	27.4
ロンドン	5.7	29.3	35.0
フランクフルト	8.7	21.7	30.4
パリ	3.3	15.3	18.6
ミラノ	4.0	11.7	15.7
モスクワ	11.0	24.0	35.0
8都市平均	6.3	23.4	29.7

図表⑩：「アンケート調査年鑑 2008 年度版 (p.895)」より作成 (単位：%) (*4)

図表⑥の質問においては、優等生であった東京の人々だが、「現在の便利な生活を犠牲にしたいくない」という考えに、「あてはまる」と回答した人の割合は、「ややあてはまる」人々も含めると、8カ国中一番である。「言うは易く、行うは難し」という言葉は、今の我々の為にあるような言葉ではなからうか。

Ⅳ. 結論：提言 一大学における「省エネルギー」――

結論を記すに際し、まずは「大学」とは何かを考えたい。大学とは学びの場であり、望む者には望むだけの知識を与えてくれる「知」の泉であると私は考えている。

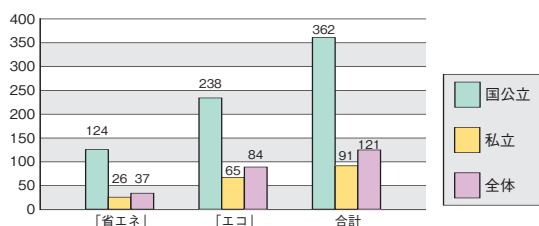
前節において、大学には、我々の手本となるような「教師」の役目を担うことを望むと述べた。「教師」は、我々の手本であり、「知」によって道に迷う者を導く存在であると考え。従って、「大学」は、我々の「教師」として、環境に関するあらゆる「知」を我々に提供し、更にその「知」をもって、自ら考え、問題を定義する力を養う機会を与えてくれる存在であって欲しいと願う。以上のことから私は、大学における「省エネルギー」活動として、以下の2つを提言したい。

【提言1】「ウェブサイトを利用した社会への「知」の開放」

本論を執筆する中で、強く実感したことは、海外の大学が社会に提供する「知」の豊かさである。Ⅱ節を執筆するに際し、環境問題に対する国際社会の現状を把握出来るような資料を模索していたところ、幸運にもエール大学のウェブサイトに出くわした。Ⅱ節で引用したEPIとESIの調査資料は、それぞれがおおよそ400ページにも及ぶ膨大な情報量であるが、その資料の全てがウェブサイト上で公開されている。望めば、誰もがその情報にアクセス出来るのである。前述したように、「大学」の社会における役目は、我々に「知」を提供することであると考え。環境問題に関連する「知」を社会に開放することは、それだけで立派な「省エネルギー」活動であると私は主張したい。

参考までに、日本の大学は、どれだけ社会に環境に関する「知」を提供しているのかを、それぞれの大学のウェブサイトへアクセスし調査してみた。調査対象は、所在地が東京都の大学121校（国公立12校・私立109校）で、ウェブサイトへ設置されている検索バーに「省エネ」と「エコ」という2つの単語をそれぞれ入力し、該当件数の数を調査した。

図表⑪は、調査結果から各大学を国公立と私立の2区分に分類し、それぞれのキーワードの平均該当件数をまとめたものである。

図表⑪：各キーワードの国別の該当件数の平均値
(単位：「件」、小数点以下は、四捨五入して省略)

冒頭でも述べたように、本節では、日本に生きる我々が、世界の人々から環境リーダーとして信頼され、見習われるに足る人間なのかを明らかにしたかった。私の答えは、「否」である。だが、私自身、ここまで例に挙げたアンケート調査の結果から導き出される日本人像と、あまり大差ない意識の持ち主である。「環境問題はどうかしなければならぬ」と考えているからこそ、本論を執筆しようと思った。だが、具体的に何か省エネルギー活動に取り組んでいるのかと問われると、電気をこまめに消すこと位しか日常で気をつけていることはない。また、それが環境保全に結びついているのかも自信がない。この自信の無さは、環境にとって今何が必要なのかを、自分で考え定義する力を過去に養ってこなかったからだ、と本論を執筆する中で気付かされた。このことから私は、「大学」というアクターに、我々日本人を環境リーダーとして育む「教師」の役目を担うことを提言したい。

母数の少なさも影響しているのだろうが、国公立のウェブサイトの方が私立のウェブサイトよりも多く、環境に関連する記事を掲載していることが解った。調査対象の121校、各校の集計結果は、別紙にまとめたので、そちらをご覧ください。ここでは、調査結果から一部を抜粋し、東京6大学と本学との集計結果を比較したものを紹介したい。

大学名	「省エネ」	「エコ」	合計
東京大学	705	947	1,652
慶應義塾大学	326	738	1,064
早稲田大学	128	227	355
法政大学	96	94	190
立教大学	114	15	129
明治大学	60	25	85
学習院大学	5	3	8

図表⑫：各キーワードの検索該当件数 (単位：「件」)

たった2つの検索キーワードだけで、全てを推し測ることなど不可能ではあるが、今回の調査における本学の検索結果は、東京の私立大学の平均値よりも低いものであった。該当記事が多く検出された大学では、学内での省エネルギー活動の取り組みをブログで紹介したり、エコロジーに関連する授業内容を公開している所が多かった。どんな情報であるにせよ、情報は「知」として、誰かの学びの糧となる。日本の大学は、省エネルギー活動の一貫として、環境問題に関連する「知」の開放を、各大学のウェブサイト上で、より積極的に推進していくべきであると考え。

【提言2】「大学と地域社会の連携によるESD教育の実践」

もう一つの提言は、大学そのものの在り方についてである。2008年6月、「グローバル・サステナビリティと大学の役割」をテーマに、札幌市でG8大学サミットが開催された。地球規模でのサステナビリティ（持続可能性）の実現に向けて「大学」はどうあるべきかを、世界各国の大学関係者が話し合った。二日間に及ぶ討論の結果、「札幌サステナビリティ宣言」が採択されたが、その中のコミットメントの1つに、本論の主題である「大学における省エネルギー」についての提言を考える上でのヒントを得た。そのコミットメントとは、「大学キャンパスをサステナビリティの実現に向けての実験の場として、社会とともに次世代モデルの創造に従事します (*5)」というものである。

大学は、社会に開かれた空間である。研究活動や技術開発の過程において、地域社会と協働関係を構築し、一つの小さな社会を構成することが出来るということは、まさに「大学」というアクターならではの機能である。特に、地域社会との連携は、環境問題に対し何をすべきか解らずにいる人々にとって、ESD (Education for Sustainable Development / 持続可能な開発の為の教育) としての効

果を期待することが出来るだろう。

ESDとは、環境問題などに代表される複雑な課題に対し、対策を講じる思考力、向き合う力などを学び、育むことを目的とした教育である。(6)Ⅲ節でも述べたように、我々は、環境問題に対し問題意識を抱いていながら、具体的に何をすべきかを考えられずにいる。そんな中で、地域社会との連携により、大学を一つの社会に見立て、あれこれと環境に関する施策を施してみることは、単なる技術力の進化を社会にもたらすだけではなく、学生達や大学の近隣に住まう人々に、環境問題を実際の身近な問題として考え、対策を講じようとする力を身につけさせる、良い機会となるだろう。

地域社会と大学との連携により生み出されるESD教育により、我々日本人が環境リーダーとしての自覚を持つに至れば、おのずと、日本社会全体の省エネルギー運動も活発化するだろう。更には、もしもこの取り組みが上手く機能したならば、日本の大学が環境社会における理想モデルであるとして、国際社会に紹介される日がくるかもしれない。そうなれば、名実ともに我々日本人は、国際社会における環境リーダーとなっているといえるだろう。このように社会に「知」を提供し、環境リーダーを育む場を地域社会と共に形成することこそが、「大学における省エネルギー」活動なのであると私は考える。

<注釈>

- (1) 経済産業省 [編]『エネルギー白書 2007年度版』P102 (3) 京都議定書より一部引用
(2) MSN. 産経ニュース『エネ効率30%改善 クールアース推進構想』
(アクセス日時: 2008/09/25)
URL: <http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/080126/plc0801262237006-n1.htm> より引用
(3) 調査時期: 2006年3月/調査地域: 首都圏、阪神圏/調査対象: 18歳以上男女520名 (有効回答)
調査方法: Webサイト型アンケート/調査主体: 博報堂生活総合研究所
(4) 調査時期: 2008年3月/調査対象: 各都市の20歳から59歳までの男女

調査都市: 東京、ニューヨーク、トロント、ロンドン、フランクフルト、パリ、ミラノ、モスクワ

調査対象: 各都市の20歳から59歳までの男女

調査方法: インターネット調査/調査主体: 博報堂生活総合研究所

サンプル数: 2600 (東京500サンプル、その他都市300サンプル) 内訳は以下の通り。

年 代	東 京		その他7都市	
	男性	女性	男性	女性
20～39 歳	125	125	75	75
40～59 歳	125	125	75	75
合 計	250	250	150	150

(5) G8大学サミット (HP)「G8サミットの開催結果について」

(アクセス日時: 2008/09/26)

6.札幌サステナビリティ宣言の概要より引用

URL: <http://g8u-summit.jp/result/index.html>

(6) ESD-J (HP)「ESDとは」参照 URL: <http://www.esd-j.org/whatsesd/>

◆◆「学生の提言」受賞コメント◆◆

法学部政治学科4年 田形博太郎

この度は、貴重な機会を与えて頂きありがとうございました。本学に入学した頃より、挑戦したいと考えていた「学生の提言」で、優秀賞の評価を頂くことが出来、大変嬉しく思います。

今回、「大学における省エネルギー」という問題を考える中で、「大学」という存在の意義深さを、改めて実感しました。昨今、社会情勢は混迷を極め、我々は、自ら問題を定義し、解決しようとする力が求められているように思います。思考する力を身につけ、養う機会を与えてくれる場こそ、「大学」なのであると、これまでの学生生活を振り返って、強く感じています。

大学を離れ、社会に出た後も、思考することを絶やさないよう、努力を続けていきたいと思っています。



学 長 表 彰

自然研M2/岡本真実さん 受賞

受賞者

自然科学研究科化学専攻博士前期課程2年
岡本真実さん

表彰式

平成20年10月8日(水)13時より
西5号館6階学長室において表彰状と副賞を授与

表彰理由

平成20年7月に、フランスのリヨンで開催された、第15回「固体における発光と光スペクトロスコピーに関する国際会議」に参加し、若手発表者の中から日本人として唯一、ポスター賞を受賞したため。

研究内容

近年、プラズマディスプレイや液晶ディスプレイなど、新方式のディスプレイの普及で、その光源となる無機蛍光材料は重要な役割を担っており、活発に研究開発が行われています。その中でも私は、次世代ディスプレイ用の発光材料として期待されているペロブスカイト型酸化物蛍光体に注目し、様々な方法によりその発光増大メカニズムの解明を目指しています。

受賞コメント

今回、学長表彰という名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。色々と失敗や困難もありましたが、日々の研究成果がこのような賞に繋がり非常に嬉しく感じています。このような賞を頂いたのも、周りの方々のサポート、特に稲熊宜之教授および諸先生方の熱意あるご指導のおかげです。この場を借りて、この研究に携わったすべての方々に心より感謝致します。

平成19年度学習院父母会 課外活動等優秀賞について

アイススケート部フィギュア部門

／法学科3年 安東和子(個人)さん

(学年は平成19年度)

■第1回東日本フィギュアスケート選手権大会
Cクラス女子第2位

平成20年9月19日発行の「COMPASS」第39号において、「平成19年度学習院父母会課外活動等優秀賞」の受賞団体および受賞者を掲載しましたが、下記1名の方のお名前が漏れておりました。関係者の方々にお詫び申し上げます。

学生生活アンケート＜意見・要望＞の集計結果について

はじめに

学生部では3年に1回、学生生活全般に関する択一式アンケートを実施していますが、それとは別に毎年3から4月に、新2年生から4年生を対象にした、記述式アンケートを実施しています。今回集計したアンケートは平成20年度初頭に実施した記述式アンケートで、約6,000名の学生を対象に実施し、回答者は290名で回答率4.9%でした。項目別回答数は延べ828件（無回答2件）になりました。回答率については過年度平均が10%前後であるのに比べてかなり低い数字ですが、背景には毎年同じ項目のアンケートのため、一般学生の関心が薄れたことが考えられます。ただ、寄せられた「生」のご意見については、これまでも関係部署間で共有され、次年度各種施策の参考になってきました。今回このアンケートの集計結果を『Compass』誌上で報告することにより、学生の皆さんの関心が少しでも高まることを期待しています。

集計結果について

アンケート項目は

A. 授業・履修 B. 課外活動 C. 奨学金
D. 施設・設備 E. 図書館 F. 計算機センター
G. 就職・進路指導 H. 学生相談室 I. 保健室
J. 食堂・売店 K. その他 の11項目で、項目別の回答分布は〈図1〉のとおりです。最も意見及び要望が多かったのは

D. 施設・設備の項目で192件寄せられました。それに続くのがA. 授業・履修の188件とJ. 食堂・売店の173件でした。この3項目で全体の66.9%に達します。また、食堂や売店も大学施設の一つと考え、施設関係だけ44.1%となり、学生の関心や不満の多くが食堂を含む施設全般に関係しているのが分かります。

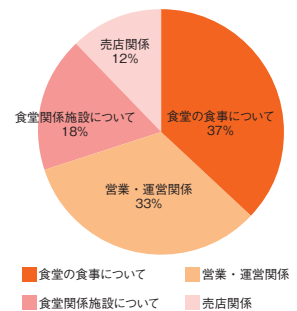
施設及び食堂

施設・設備に関する意見の内容は〈図2〉のとおりです。施設の新設33件に対して、現施設の不備に関する意見が78件と倍以上ありました。最も多かった意見は、エアコンの温度設定に関するもので、教室によって温度にムラがあることや、夏暑く、冬寒い教室への不満が多く、これらは毎年寄せられる要望でもあります。その他北1号館や西1号館のトイレが臭く、汚いとの指摘や石鹸が無いなど、かなり具体的な意見や要望がありました。施設新設に関しては、やはり個人用ロッカーを望む声が圧倒的でした。また、食堂項目と重なりますが、学内で食事でも

き雑談もできる設備への要望もありました。その食堂・売店関係ですが、〈図3〉にあるとおり、食事（料理）についての意見が67件と最も多く、次に営業及び運営に関する意見56件となっています。代表的意見は、値段が高い、味

が不味い、メニュー及び量が共に少ないとの指摘でした。これは運営会社変更前と殆ど変わりません。営業・運営に関しては、混雑解消や朝からの営業、衛生管理等。また、食堂施設（30件）では、やはり混雑解消のため別に1箇所食堂を造って欲しいとの要望が多数ありました。とりわけ理学部周辺にはパンの自販機以外なく、普通に食べられる食堂施設への切実な要望がありました。他にファーストフードやカフェの出店への具体的意見がありました。

〈図3〉J 食堂・売店



授業・履修関係

188件中最も多い55件の意見があったのはカリキュラム・授業関係です。代表的要望では履修制限の撤廃、必修科目の開講時間重複、語学・一般教育科目の単位認定拡大等々です。次に25件の意見があった履修登録では、セメスター制導入、Webでの履修登録、履修届期間及び受付時間延長等の意見が多く見られます。また、33件ある授業運営の内、8件はホワイトボードのマークが薄いとの指摘です。その他、休祝日の開講に反対する意見や、授業関連情報の発信不備を指摘する声もありました。

図書館他

図書館については、法経図書センターと理学部図書室を含みます。総計69件の内、28件は開館時間の延長や休日開館についての要望でした。運営についての意見では、試験期の私語がうるさいので注意して欲しい、との要望が目立ちます。

学生部関係では、運動施設の充実、助成金の増額と共に、活動できる教室や時間帯をもっと増やして欲しいとの要望があります。奨学金関係では、制度の充実を求める意見もありますが、窓口対応への不満が多くありました。職員の対応に関する不満は学生部に限らず、窓口業務を行う大学部署全体に言える傾向ですが、学生部については毎年同様の指摘があります。

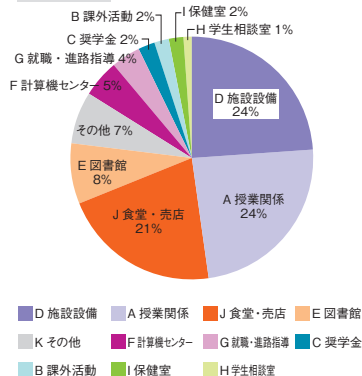
その他

A項からJ項に属さない部署への意見が「その他」の項目に含まれています。ここには全体の7.1%に当たる59件の意見があり、決して少ない数ではありません。その内の48件が学内書店に関する不満・要望でした。具体的には、本の入荷が遅いとの指摘や、必要な教科書を常に置いて欲しい、開店時間をもっと早めて欲しいなどの要望の他、書店員の態度に関する不満もいくつかありました。その他、学費が高いことや、桜友会学生会費の使途についての意見もありました。

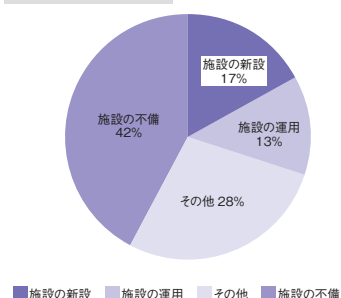
おわりに

誌面の都合上、触れられなかった項目がありますが、その内容については各学部・学科及び事務部門各部署にすでに知らせております。また今回のアンケートでは、現在の学生が大学全般に対して抱えている不満や意見を共有できるよう、全項目の要約を専任教員全員に配付しました。アンケートに寄せられた意見の多くは、真面目で真摯な要望が多いのですが、中には大学の説明不足や、学生の誤解と思われる意見も少なくありませんでした。これらを含めて、学部・学科および各事務部門では現在レスポンスを検討しており、取りまとめ次第何らかの方法で公開する予定です。

〈図1〉全体



〈図2〉D 施設・設備



平成20年度学年末試験について

【告 示】

すでに発表されたとおり、来る1月15日(木)から学年末試験が行われる。受験にあたっては、正々堂々自らの実力を発揮し、日頃研鑽の成果をあげてほしい。

この際、特に学生諸君に求めたいのは、決して不正行為を行わないという決意と、誘惑を斥ける勇気である。これまで再三の注意にもかかわらず、不正行為が跡を絶たないのは、誠に悲しむべきことと言わねばならない。諸君は、不正行為が憎むべき裏切り行為であるばかりでなく、おのが人格の完全な否定であることを知るべきである。

大学としては、不正行為に対し、断固たる処分をもって臨む方針である。切に諸君の自戒・自粛を望む。

平成21年1月

学 長

【学年末試験にあたって】

本年度学年末試験が1月15日(木)から始まるが、試験に臨むに当たり、学部・大学院履修要覧『履修について』『8. 試験について』、法科大学院履修要覧『履修方法等に関する要項』『9. 試験』を再度熟読し、いやしくも本学学生として学長告示に違背することのないよう特に要望する。

万一、不正行為があった場合には、無期停学及び当該年度履修全科目の無効措置等の処分を行う方針であるから特に自戒を切望する。

平成21年1月

教務部長
学生部長

平成20年度 学年末試験 実施日程・時間など

■ 1月15日(木)～1月28日(水) ■

法科大学院は1月20日(火)～2月2日(月)

1時限	9時00分～10時30分	〈60分で行う科目〉	試験本部は多目的ホール(西5号館1階)に設ける。 ただし1月29日(木)～2月2日(月)は西5号館4階教務部教務課に設ける。
2時限	10時50分～12時20分	総合基礎科目(外国語科目・体育科目)	
3時限	13時10分～14時40分	〈90分で行う科目〉	
4時限	15時00分～16時30分	専門科目・総合基礎科目	
5時限	16時50分～18時20分	(外国語科目・体育科目を除く)	
6時限	18時40分～20時10分	〈90分または120分で行う科目〉 法科大学院科目	

学年末試験は上記の期間に実施するが、授業科目によっては、この期間外に実施するものもある。

定期試験の時間割は1～2週間前に掲示によって発表する。

※気象に関する警報が発表された場合、および自然災害・ストライキに起因する交通機関の運行停止の場合の措置については、授業と同様の扱いとする(学部・大学院「5. 休講について」法科大学院「7. 休講」参照)

◆受験上の注意

- 履修届によって登録された授業科目でなければ受験することは出来ない。
- 試験時間割には、平常の授業と試験の曜日・時限・教室が異なる授業科目等があるので注意すること。
- 受験の際には、必ず学生証を携帯し、試験時間中は常に机上に呈示しておかなければならない。
- 学生証を携帯しない者は、いかなる事情があっても受験出来ない。学生証を忘失した者に対しては、試験期間中に限り特別に発行する「仮学生証(学内試験用)」(西5号館4階学生部で発行)を持参、呈示した場合に限り、受験を許可する。
- 試験場における座席は、番号札もしくは本学備付六法の番号によって指定する場合がある。その場合、学生は入室時に必ず番号札もしくは本学備付六法を受け取り、指定された席に座らなければならない。
- 試験教室に入室する際は、必ず携帯電話の電源を切った上、バッグ等の中にしまうこと。帽子、サングラス等もバッグ等の中にしまうこと。
- 着席後は、私語を慎み、筆記具その他予め許可されたもの以外を机の上に置いてはならない。
- 試験教室に入室した後、手洗い等のために一時退室することは一切認められない。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は受験を認めない。また、試験開始後30分を経過するまでは、試験場からの退出を許可しない。
- 解答用紙には、最初にボールペンもしくは万年筆で学籍番号、氏名等所要事項を記入し、退出の際には、教卓、教壇等指示された場所に必ず提出しなければならない。解答を断念した場合も同様である。

- 5大学間単位互換制度(f-Campus)に基づく他大学提供科目と本学授業科目の試験日時が重複した場合には、他大学提供科目の受験を優先し、本学授業科目の試験については教務部教務課に相談し、別途指示を受けること。

◆棄権について(学部・大学院のみ)

- 受験の途中で棄権する場合は、学部、学科、学年、学籍番号、氏名を正確に記載のうえ、科目担当教員が棄権したことを容易に確認できるように、解答用紙の表側に「棄権」と、大きく記載すること。
なお、「棄権」と記載した解答用紙を提出した学生は、当該科目の全ての権利を放棄したものとみなす。したがって、当該科目についての救済措置(成績調査・追試験等)はいかなる場合もこれを行わない。
また、「棄権」した科目の成績評価は行わず、成績表にも記載されない。

◆不正行為について

- 次の行為はこれを不正行為として学則第70条に基づき懲戒を加える。
- 番号札もしくは本学備付六法を交換したり、これに応じたりすること。また、不正使用の目的をもって故意に番号札もしくは本学備付六法を持ち帰ること。
 - 持ち込みを許可されていないノート、教科書、参考書等を参照すること。
 - 持ち込みを許可された六法、辞書等に不正行為を目的として予め書き込みをすること。
 - 試験時間中にノート、教科書、参考書等を貸借すること。
 - 代人が受験すること。
 - 他人の答案をのぞき見て写したり、写させたりすること。

- (7) 試験内容に関する私語をすること。
 (8) 以上の不正行為に類する行為をすること。

◆追試験について(学部・大学院「9. 追試験について」、法科大学院「10. 追試験」参照)

やむをえない事情によって所定の日に試験を受けられなかった者で、所定の期日までに以下に示す詳細な理由を具して願い出た者に対し、教授会の議を経て追試験を許可する場合がある。

- (1) 学年末試験追試験対象科目
 第2学期終了科目および通年科目
 ただし、掲示による事前周知のない試験科目は対象外とする。
 (2) 出願期日 2月2日(月) まで
 法科大学院は2月5日(木) まで

- (3) 手続時間は下記のとおり
 月～金曜日 8:50～16:00
 土曜日 8:50～12:00
 日曜日・祝日 閉室
 (4) 受験料は、1科目あたり1,000円である。
 (5) 以下の場合については、受験料を徴収しないこととする。
 ● 5大学間単位互換制度に基づき、他大学設置科目の授業・試験を優先させた場合
 ● 交通機関遅延の場合(ただし、鉄道に限る)
 (6) 追試験は、必ず評価の対象となり棄権は認められない。また、追試験の場合は不利な点が多いので、試験期間には健康に充分留意することが肝要である。

各部署からのお知らせ

就 職 部

《4年生・博士前期課程2年生へ》

- 「進路(就職・進学・その他)決定届」、
 「就職活動報告書」、「就職活動についてのアンケート」の提出

重要

●「進路決定届」は全員提出が義務づけられています。

就職内定または就職以外の進路が決定している方で上記の届を未だ提出していない方は至急提出してください。就職部HPから入力送信、または、就職部カウンターに設置してある用紙に記入しても提出できます。未提出の場合には、企業人事部等から就職部へ、内定確認及びその他の照会の依頼があっても、正確に答えることができません。また、未提出は、内定後のトラブルに繋がりがかねませんので注意してください。

●「就職活動報告書」「就職活動についてのアンケート」は就職内定者に任意で提出をお願いします。

就職が内定した方は、「活動報告書」及び「就職活動についてのアンケート」の提出にもぜひ協力をお願いします。

■就職希望者で就職が内定していない学生へ

重要

4年生等の就職希望者でまだ内定を得ていない学生は、速やかに就職部に相談に来てください。担当の職員が個別に相談にのり、企業等の紹介を行っています。積極的に利用してください。

《3年生へ》

■学内企業説明会 開催

重要

○開催日: 2月16日(月)～25日(水)(除く土日)

場所・時間等詳細は別途掲示をご覧ください。また内容に変更が生じた場合も随時掲示にてお知らせいたしますのでご確認願います。約200の企業の説明会が学内で開催され、企業担当者の生の声を聞くことが出来る大変有用な機会です。積極的に参加してください。

◆就職資料室及び就職部PC・AVコーナーの活用◆

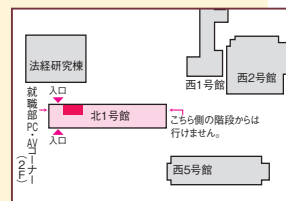
就職資料室は、北1号館1階(事務室隣)に、就職部PC・AVコーナーは、北1号館2階(事務室上)にあります。ここでは就職に関する資料・書籍・雑誌等(公務員受験関係の資料も含む)が閲覧できます。ぜひご利用ください。

なお、資料室及びPC・AVコーナーの開室時間は、以下の通りです。

平 日 8:40～16:30

土曜日 8:40～12:00

〈HP〉 http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/place/index_main.html



教 務 部

■平成20年度成績表の交付について

平成20年度成績表を次のとおり交付します。

1. 対象者: 卒業生・修了生を除く全員
2. 期 間: 平成21年3月25日(水)・26日(木)
 27日(金) 【3日間】
 午前9時～午後4時30分
 (11時20分～12時30分は昼休み)
3. 場 所: 西5号館1階多目的ホール

注意事項

1. 必ず学生証を持ってきてください。
2. 卒業生・修了生の成績表は3月20日(金)の卒業式・修了式の際に学位記とともに交付します。
3. 科目等履修生の成績表は3月13日(金)以降、教務課窓口で交付します。
4. 理学部および自然科学研究科の学生に対しては3月26日(木)・27日(金)の2日間、南1号館2階会議室で交付する予定です。詳細は理学部掲示板でお知らせします。
5. 平成21年度シラバスおよび授業時間割を同時に配付します。

■保証人宛成績通知書送付について

平成21年4月上旬、保証人宛に成績通知書を送付します。

宛先は入学手続書類に記入していただいた保証人の住所・氏名をデータとして使用しますので、それ以降住所変更などがある場合には、早急に学生部学生課まで変更内容を届け出てください。

また、発送に際しては、原則としてパソコンで使用できる文字(JIS第2水準まで)を使用するため、住所・氏名の文字の一部が届け出いただいたものとは異なる場合があります。不都合がありましたら教務部教務課までご連絡ください。

問い合わせ先: 03(3986)0221 (代表)

教務部教務課 内線2317

学生部学生課 内線2284

財 務 部

■平成21年度学費納入について

平成21年度第1期分の学費納付金振込依頼書（振込用紙）の発送予定および納付期限は、下記のとおりです。納入について不明な点などございましたら、会計課までお早めにご相談ください。

- 発送時期 平成21年4月中旬
- 納付期限 平成21年4月30日(木)

◎必ず送付された振込用紙にて納付してください。

◎年額を納付することもできます。（第1期分のみ振込依頼書と年額分の振込依頼書を送付いたします。）

◎住所変更をされた方は学生部へ届け出てください。

学 費 一 覧 表

(単位 円)

区 分	項 目	入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料			※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費
				第1期	第2期	※第1期	第2期	計					
大 学 部	法学部	H13～H18	871,300	566,300	305,000	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	3,500
		H19	911,300	592,300	319,000	319,000	319,000	638,000	258,000	5,000	6,300	500	3,500
		H20	951,300	618,300	333,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	3,500
	経済学部	H12	833,800	540,800	293,000	293,000	293,000	586,000	236,000	5,000	6,300	500	—
		H13～H18	867,800	562,800	305,000	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	—
		H19	907,800	588,800	319,000	319,000	319,000	638,000	258,000	5,000	6,300	500	—
		H20	947,800	614,800	333,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	—
	文 学 部	心理学科以外	H12	912,800	579,800	333,000	333,000	666,000	232,000	5,000	6,300	500	3,000
			H13～H18	944,800	599,800	345,000	345,000	690,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000
			H19	984,800	624,800	360,000	360,000	720,000	250,000	5,000	6,300	500	3,000
		心理学科	H20	1,024,800	649,800	375,000	375,000	750,000	260,000	5,000	6,300	500	3,000
			H15～H18	974,800	629,800	345,000	345,000	690,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000
			H19	1,014,800	654,800	360,000	360,000	720,000	250,000	5,000	6,300	500	3,000
大 学 院	理 学 部	物理学科	H20	1,054,800	679,800	375,000	375,000	750,000	260,000	5,000	6,300	500	3,000
			H13～H18	1,315,800	845,800	470,000	470,000	940,000	284,000	5,000	6,300	500	—
			H19	1,365,800	876,800	489,000	489,000	978,000	296,000	5,000	6,300	500	—
		化学科	H20	1,415,800	907,800	508,000	508,000	1,016,000	308,000	5,000	6,300	500	—
			H14～H18	1,235,800	765,800	470,000	470,000	940,000	284,000	5,000	6,300	500	—
			H19	1,285,800	796,800	489,000	489,000	978,000	296,000	5,000	6,300	500	—
	博 士 前 期 課 程	政治学	H20	1,335,800	827,800	508,000	508,000	1,016,000	308,000	5,000	6,300	500	—
			H18～H19	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500
		経済学・経営学	H20	710,700	456,700	254,000	254,000	508,000	198,000	—	1,200	—	3,500
			H18～H20	667,200	427,200	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	—
		人 文 科 学	H20	707,200	453,200	254,000	254,000	508,000	198,000	—	1,200	—	—
			H17～H19	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
大 学 院	博 士 後 期 課 程	心理学科以外	H20	704,200	449,200	255,000	255,000	510,000	190,000	—	1,200	—	3,000
			H19	694,200	454,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
		心理学科	H20	734,200	479,200	255,000	255,000	510,000	190,000	—	1,200	—	3,000
			H19	905,200	580,200	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—
		実 験	H20	955,200	611,200	344,000	344,000	688,000	196,000	—	1,200	—	—
			H19	835,200	510,200	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—
	博 士 後 期 課 程	理 論	H20	885,200	541,200	344,000	344,000	688,000	196,000	—	1,200	—	—
			H15～H20	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500
		法学・政治学	H16～H20	667,200	427,200	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	—
			H14	632,200	404,200	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000
		心理学科以外	(注1) H15	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
			H16～H20	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
大 学 院	博 士 後 期 課 程	心理学科	H15～H20	694,200	454,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
			H18～H20	905,200	580,200	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—
		実 験	H18～H20	905,200	580,200	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—
			H18～H20	835,200	510,200	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—
		理 論	H17～H20	1,301,200	744,200	557,000	557,000	1,114,000	186,000	—	1,200	—	—
			H17～H20	1,301,200	744,200	557,000	557,000	1,114,000	186,000	—	1,200	—	—

(注1)：平成12年度大学院博士前期課程に入学し、15年3月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料			※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費	
					第1期	第2期	※第1期	第2期	計						
大 学 院	博 士 後 進 修 課 程	人 文 学	心理学以外	H12	632,200	404,200	228,000	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000

※は、第1期徴収分です。

*は、研究実験費であり、授業料に含みます。

国際交流センター

■国際交流センターホームページのご案内

国際交流センターからの各種募集案内や行事等の情報はホームページ新着情報を通じて随時お伝えしています。URLは、
パソコン：<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>
携 帯：<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/keitai.html>
 （携帯は閉室情報、留学生、ボランティア関連情報のみ）です。

また、協定校や留学情報機関のホームページにもリンクがはられていますので、留学や国際交流に興味のある学生や外国人留学生の皆さん、ぜひ定期的に確認してください。

なお、国際交流に関する情報は、学外からのものを含め、国際交流センター（西5号館4階）前にある掲示板を通してもお知らせしています。

■学習院大学海外留学奨学金の募集

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金」を設けています。

詳細は国際交流センターにおたずねください。

出 願 条 件：教授会（院生は研究科委員会）で留学が許可されているか、もしくは海外の大学等へ出願中の学生
奨 学 金 額：1名あたり50万円（返還の義務なし）
採用予定数：年間20名
出 願・選 考：年2回

学 生 部

■「教育ローン金利助成奨学金」の募集について

本学が指定する金融機関より学費納付を目的として教育ローンを借用した場合、家計負担軽減を目的として在学中に支払った金利の一部を申請により給付します。

概要は以下のとおりです。詳細については学生部にお問い合わせください。

1. 対象者

学費納付のため教育ローンを利用し、かつ、今年度金利を支払っている者。

2. 指定金融機関（名称は平成20年4月1日現在）

国民生活金融公庫・中央労働金庫・三菱東京UFJ銀行
三井住友銀行・みずほ銀行・りそな銀行

3. 奨学金額（5万円を上限として給付）

20年度に支払った金利のうち、学費を上限とする累積借入金額に対して金利2%を上限とする実質金利を乗じた金額又は、支払った金利のどちらか低い金額。

4. 手続き

平成21年1月8日（木）以降、学生部窓口で申請書類を受け取り、①所定申請書、②振込口座届、③金利支払いを証明する書類を平成21年1月30日（金）までに学生部窓口に出してください。

5. 奨学金の交付

申請内容を審査の上、適格者に対しては平成21年3月31日（火）までに指定口座に振込みます。

■平成21年3月卒業生（学部）

／修了生（法科大学院・大学院）の証明書交付

平成21年3月10日に卒業／修了が決定した学生に対して、次の要領で証明書を発行します。

（1）証明書の種類

- 成績証明書（和文・英文）
- 卒業証明書（和文・英文）
- 学位取得証明書（和文・英文）

※法科大学院・大学院修了生対象。修了証明書を兼ねる。

（2）証明書申込（予約）場所

証明書自動発行機（西5号館4階学生部前）

（3）証明書発行場所 学生部

（4）発行日程・手数料（下表参照）

申込（予約）受付日	申込受付期間	発行日	手数料
3月10日（火）	卒業発表掲示後（10時頃）～16時45分	3月20日（金）卒業式終了後から14時まで	1通 和文 100円 英文 300円
3月11日（水）～19日（木）	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分		
3月20日（金）	9時～14時	3月21日（土）9時～12時30分	
3月21日（土）～31日（火）	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	即 日	
4月1日（水）以降	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	即 日	1通 和文 200円 英文 600円

★卒業追加認定者… 3月31日（火）発表後受付開始、即日発行。

■平成21年度日本学生支援機構奨学金・学習院大学奨学金新規募集説明会（定期採用）の開催について

日本学生支援機構奨学金および学習院大学奨学金の新規募集説明会を、次のとおり行います。奨学金を希望する学生は、必ず説明会に出席のうえ、申請資格の有無を自己判定するとともに、今後の手続日程を確認してください。

1. 開催日時・会場

学部新2年生以上

■ 日 時：4月10日（金）18時～

■ 会 場：未定＊

大 学 院 生

■ 日 時：4月10日（金）18時～

■ 会 場：未定＊

法科大学院生

■ 日 時：4月10日（金）12時20分～

■ 会 場：未定＊

＊各説明会の会場については、決定次第、奨学金掲示板および学生部HPにてお知らせします。

2. 奨学金出願資格

奨学金には、家計及び学力基準といった「申請資格」（詳細は説明会にて周知）を設定しています。また、採用枠という制約があるので、申請資格を満たしていても必ず採用されるとは限りません。

■入学試験時の入構規制について

平成21年度入学試験が、平成21年2月7日（土）～10日（火）まで実施されます。みなさんのご協力をお願いします。

【学内入構禁止日時】

2月7日（土）午前6時～2月11日（水）午前6時

※学生の入構はできません。

※なお、入構許可証またはリボンをもっている下記学生は入構が許可されます。

【入構許可証発行またはリボン配付対象者】

- 監督補助員
- 案内誘導係
- 馬術部

※大学院生・法科大学院生及び理学部学生で、事前申請を行い許可された学生は、正門で記帳のうえ、指定リボンを着用することで入構できます。

【入構規制中の事務取扱い】

事務取扱いは行いません。

■平成22年3月卒業見込（学部）／修了見込

（法科大学院・大学院）学生の証明書の交付について

（1）証明書の種類

- 成績証明書（和文・英文）
- 卒業見込証明書（和文・英文）【学部用】
- 修了見込証明書（和文・英文）【法科大学院・大学院用】
- 健康診断証明書（和文）

（2）交付開始

4月7日（火）

※健康診断証明書のみ5月1日（金）

（3）交付場所

証明書自動発行機（西5号館4階学生部前）より発行します。

月～金：9時～18時 土：9時～12時30分

外国語教育研究センター

■英語能力試験（TOEIC-IP）の実施について

本学の英語教育をさらに充実させるため、以下の通り英語能力試験（TOEIC-IP）を実施いたします。今回の試験結果によって皆さんの現在の英語力およびこれまでの学習の成果等を知ることができますので、忘れずに受験し、その結果を今後の英語学習にご活用ください。

- 対象 2年生（平成19年度入学者）および平成19年度インテンシヴ・コース合格者（3年生以上）
- 実施日時 平成21年1月29日（木）14：30～17：00
- 試験会場 試験会場は変更される可能性がありますので、詳細につきましては、外国語教育研究センター掲示板（北1号館西側掲示場）にてご確認ください。

▼ 2年生

法 学 部 法 西1-102～105 政 西1-106～109
 経済学部 済 西1-206～210 営 西1-301～305
 文 学 部 ド・フ・心 西5-B1 哲・史 西5-201
 日 西5-301、302 英 西5-303
 理 学 部 南3-201

▼ その他

3年生以上インテンシヴ・コース（IC）19年度合格者 西5-202
 対象外学生・大学院生の希望受験者※ 西5-202

※今回対象となる2年生および3年生以上IC19年度合格者以外の学生・大学院生で、受験を希望する者は、外国語教育研究センター窓口にて申込をしてください。
 （受験料1千円、先着100名迄、申込締切1月27日）

【問い合わせ先】 外国語教育研究センター [北2号館10階]
 月～金曜日／9：00～11：30、12：30～16：30
 土曜日／9：00～12：00
 HP／<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/fltrc/index.html>

TOEICの試験前にあなたの英語の実力を測ってみませんか

インターネットでできる

英語コミュニケーション能力テストCASEC

CASECは最新のテスト理論に基づいた高い判定精度をもつテストで、英語のコミュニケーション能力を短い試験時間（平均40分程度）で測定し、その場でTOEICのスコアや英検の目安がわかります。このテストは学内だけでなく学外からも受験可能で、**無料**で利用できます。

詳細は外国語教育研究センターのウェブサイトへアクセスし、指示に従って受験してください。

インターネットで英語が無料で学習できます

マルチメディア型英語教材「ALC NetAcademy 2」

外国語教育研究センターでは、インターネットで英語が学習できるシステム「ALC NetAcademy 2」を導入しています。コンピュータからサーバにある教材にアクセスし、スピードを変えてのリスニングや英文の表示速度を変えてのリーディングなどが可能です。本年度は新たに「スーパースタンダードコース」が用意され、より学習しやすくなりました。新傾向のTOEICに対応した問題演習も用意されています。現在は学内はもちろんのこと、**自宅など学外からもアクセス**できるように試験的に運用していますのでぜひ活用してください。なお、利用は無料です。詳しくは外国語教育研究センターのウェブサイトにある説明をご覧ください。

施 設 部

■輔仁会館冬季貸出に関するお知らせ

下記期間中の輔仁会館集会室の貸出しについて、下記の要領で受付けをいたします。

通常の貸出しの申込み受付要領は、貸出し対象日の1ヶ月前の同日（受付日が日祝日の場合、さらにその前日）に受付けますが、例外として休講・休暇期間等の関係でまとめて受付ける日があります。十分にご注意ください。

● 平成21年1月～3月

貸出対象日	貸出日・時間	申込受付要領
1月8日（木）～1月22日（木）	通常通り	通常通り（貸出日の1ヶ月前より予約受付開始）
1月23日（金）～1月28日（水）	通常通り	1月15日（木）より予約受付開始
1月29日（木）～2月28日（土）	貸出なし（入試・工事等のため）	
3月2日（月）～3月17日（火）	平日16：30迄 土曜12：30迄 日祝貸出なし	◆ 3／2（月）～4（水）… 1／20（火）より予約受付開始 ◆ 3／5（木）～7（土）… 1／21（水）より予約受付開始 ◆ 3／9（月）～11（水）… 1／22（木）より予約受付開始 ◆ 3／12（木）～14（土）… 1／23（金）より予約受付開始 ◆ 3／16（月）～17（火）… 1／24（土）より予約受付開始
3月18日（水）～3月20日（金）	貸出なし（卒業式衣装レンタル・着付け会場として使用のため）	
3月21日（土）～3月31日（火）	平日16：30迄 土曜12：30迄 日祝貸出なし	◆ 3／21（土）～24（火）… 1／26（月）より予約受付開始 ◆ 3／25（水）～27（金）… 1／27（火）より予約受付開始 ◆ 3／28（土）～31（火）… 1／28（水）より予約受付開始

■輔仁会館内における禁煙の徹底について

輔仁会館内では、平成15年5月1日施行の健康増進法に伴う受動喫煙防止対策のため、同年6月より全館禁煙になっています。また、平成19年9月21日付大学長・学生部長名の告示による「構内分煙化の徹底について」により、キャンパス内の喫煙場所は学内11箇所の灰皿設置場所に限定されています。

しかしながら、最近の数ヶ月間、輔仁会館内での喫煙の形跡が、数多く見受けられていることは残念でなりません。

上記通達の遵守および防火対策強化のため、禁煙の徹底をお願いします。

■2棟の新築工事について

自然科学研究棟（仮称）及び中央教育研究棟（仮称）新築工事が進行しており、多くの**大型車輛**が入構しています。

動線は正門⇒幼稚園舎南側⇒中・高等科第1体育館西側⇒硬式野球場西側⇒軟式テニスコート北西部⇒南2号館南西部及び南1号館北西部⇒工事現場となります。通行の際は十分にご注意願います。

工事場所及び付近の道路等は関係者（関係車輛）以外の立ち入り・通行を禁止します。ご協力の程よろしくお願い致します。

計算機センター

■計算機センター実習室 学年末休講中の予定について

【閉室日】 日曜日・祝日 および 2月7日(土)～2月10日(火)
 【開室日】 日曜日・祝日、入試期間以外は平常通り
 月～金曜日 9:00～18:00
 土曜日 9:00～14:00

※3月に計算機センターのシステム入れ替えがありますので、
 掲示等にご注意ください。

■卒業予定者へのお知らせ

重要

3月に卒業する学生は、年度末をもって計算機センターの利用
 が出来なくなります。必要なファイルなどのデータは3月31日
 までに各自で持ち帰ってください。メールアドレスも抹消され
 ますので、必要に応じて関係者に連絡しましょう。

生涯学習センター 2009年度 資格・語学・スキルアップ講座、教養講座のご案内

本センターでは、本学学生、卒業生、ご父母、地域住民
 の方を含め、広く一般の皆さんを対象とした、資格試験対
 策講座や教養講座を開講しています。

■自分の“付加価値”を高めよう！

世界の金融不安や株価の低迷等に伴い、学生にとって売り手だ
 った就職市場は大きく変わろうとしています。有名企業や人気の
 業界・職種では今まで以上に厳選採用となることが予想され、採
 用試験においては、個人の能力や仕事に対する意識・意欲などが
 厳しく問われます。また、即戦力を求める企業は多く、大学生が
 職務経験のある社会人と同じ土俵で採用試験に臨むケースもあり
 ます。自分の能力や意欲の裏付けとなる資格を取ったり、英語や
 文章力などのスキルを磨いたりする学生が多いのは、そうした流
 れを敏感に感じ取っているからでしょう。大学在学中の今こそ、
 自由な時間を効果的に使い、自分の“付加価値”を高める最大の
 チャンスです！

■質の高い資格試験・語学・スキルアップ講座を開講

生涯学習センターでは、将来に向け努力する学生やスキルアッ
 プを目指すビジネスパーソンを支援するため、民間の資格専門学
 校や語学学校と提携し、資格・検定試験対策講座、英語試験対策
 講座、スキルアップ講座を開講しています。経験豊富な講師陣が、

効率的に学習できる教材を用いて、質の高い授業を提供しており、
 例年高い成果を上げています。

■経済的負担軽減を強力にバックアップ

外部機関と比べ、割安な受講料を設定し、受講生の経済的負担
 軽減をバックアップ。さらに、資格講座では、本学の現役学生の
 皆さんを対象とした「**在学生受講料給付制度**」(全講座の80%以
 上の出席により、受講料の20%程度を還付)等もあり、断然お
 得な価格設定となっています。また、残念ながら試験に合格でき
 なかった方のため、減額された受講料で2度目の受講ができる
 「**再チャレンジ制度**」(対象指定講座有)もあります。そして、全
 ての講座が目白キャンパス内で開催されるため、移動の必要がな
 く、利便性も抜群です。

■募集要綱・講座ガイダンス情報を入手

センターでは、今後もニーズの高い講座を積極的に取り上げて
 いく予定です。就活やキャリアアップの一つの手段として、積極
 的に活用してください。

左下の表は、2009年度に開講を予定している資格・英語・ス
 キルアップ講座です。各講座の日程等詳細は、3月上旬から西5
 号館学生ホール入口スタンド等に設置する募集要項、資料等でご
 確認ください。また、各講座の概要や資格取得の効用等を分りや
 すく説明するガイダンスを実施します。開催日時や会場等は、4
 月中旬以降、学内のポスターや立看板などで告知します。

卒業生・社会人の方は、下記センターまで講座パンフ
 レットをご請求ください。

■多種多彩な一般教養・趣味講座を展開

その他、主に社会人の方を対象とした一般教養講座を
 開設しています。文学、歴史、芸術、古典芸能、語学、
 趣味から子育てまで、多彩なプログラムを用意して、ご
 父母や卒業生の皆様をお待ちしています。ぜひ、学校ま
 で足をお運びください。

春期講座の詳細は、2月下旬に完成する総合パンフレッ
 トをご覧ください。過去1年以内にご請求をいただいでい
 る方には、出来上がり次第お送りします。新規にご希望
 の方は、下記までお気軽にご連絡ください。

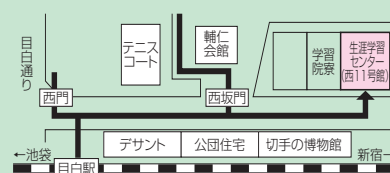
2009年度春期(夏期)開設予定 資格・検定・キャリアアップ講座一覧

講 座 名	開講期間(予定)	本試験日
☆宅建主任者試験対策総合講座	5月中旬～10月中旬	10月中旬
☆総合・国内旅行業務取扱管理者講座	5月中旬～9月下旬	9・10月上旬
☆2級ファイナンシャル・プランニング技能検定(AFP)講座	6月中旬～1月中旬	1月下旬
☆行政書士試験対策総合講座	5月中旬～11月上旬	11月上旬
★秘書検定準1級・2級講座	5月中旬～6月下旬	6月下旬
☆初学者向け日商簿記2級ストレート講座	5月中旬～11月中旬	11月中旬
☆証券外務員二種資格試験対策講座	5月中旬～8月上旬	随 時
☆貿易実務講座	5月中旬～7月上旬	7月上旬
☆医療事務講座(診療報酬請求事務能力認定試験対応)	5月中旬～7月中旬	7月中旬
色彩検定2級対策講座	6月上旬～10月下旬	11月上旬
色彩検定3級対策講座	4月下旬～6月上旬	6月中旬
TOEIC®講座入門コース	5月下旬～7月中旬	7月下旬
TOEIC®講座600点達成コース	5月下旬～7月中旬	7月下旬
TOEIC®講座600点達成コース(夏期)	8月上旬～8月中旬	9月下旬
TOEIC®講座700点達成コース(夏期)	8月上旬～8月中旬	9月下旬
英会話+TOEIC®スコアアップ講座	5月下旬～7月上旬	7月下旬
はじめてのTOEFL®テスト対策講座	5月下旬～7月上旬	随 時
夏期集中 TOEFL®テスト(中級)対策講座	8月上旬～8月中旬	随 時
トラベルライター入門	5月中旬～7月中旬	—
大学生のための自己分析とキャリアプラン(夏期)	8月上旬	—
大学生のためのプレゼンテーション力養成講座(夏期)	8月上旬	—
就職のためのマスコミ文章講座(夏期)	8月	—
企業研究の基礎知識(夏期)	8月	—

「☆」在学生受講料給付制度対象講座(予定) 「★」在学生割引受講料設定講座(予定)

◆お問い合わせ・連絡先：学習院生涯学習センター

Tel 03(5992)1040 Fax 03(5992)1124
 E-mail : shogaigakushu@gakushuin.ac.jp
 URL : <http://open.gakushuin.ac.jp/>





図書館だより

■ 学年末休業中は長期に本を貸し出します

1月15日(木)～3月31日(火) *

返却日: 4月14日(火)

冊数は通常どおりです。雑誌の貸出期間は変わりません。

*) 大学図書館については、以下の「アスベスト除去工事のため大学図書館は休館します」をご覧ください。

★最終学年在籍者の返却期限

〈学部4年生、修士2年生、博士3年生、法科大学院生3年生〉

大学図書館: 1月28日(水)

※ 1月29日(木)以降も利用したい場合は事前に1Fカウンターまで申し出てください。

法経図書センター: 3月13日(金)

理学部図書室: 3月13日(金)

※4月以降に卒業生登録の手続きを行うと、引き続き図書館が利用できます。卒業証書(原本)が学生部発行の

卒業証明書を持参し、大学図書館の1階カウンターで手続きしてください。

■ 試験期には図書館で勉強しませんか

試験期は、いつもより遅くまで図書館が開いています。

日曜・祝日の開館日もありますので、詳細はカレンダーでご確認ください。

■ 山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム・四大学図書館の相互利用停止

1月は試験期のため、協定による閲覧・貸出は停止になります。(國學院大学図書館・武蔵大学図書館は閲覧・貸出可。立教大学図書館は閲覧のみ可。)この期間に閲覧を希望する場合は紹介状が必要になりますので、大学図書館2階レファレンスカウンターへご相談ください。

アスベスト除去工事のため大学図書館は休館します

期間: 1月29日(木)～3月31日(火)

利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

* 大学図書館

1. 工事期間中に停止するサービス

本館内設備の利用	本館への立ち入りは一切禁止。 全ての本館資料の利用不可。
本館資料の閲覧・貸出・複写	
本館書庫への入庫	
大学図書館・女子大学図書館間の配送*	大学図書館・女子大学図書館間の配送は全て停止。 女子大学図書館資料の目白キャンパスでの受け取りは法経図書センターでのみ可。

*) 女子大学図書館資料の大学図書館への取り寄せ: 1/22 16:30 受付期限。1/23 年度内最終便。

*) 女子大学図書館の貸出中資料への取り寄せ予約: 1/22 以前に取り寄せ予約した女子大学図書館の貸出中資料が工事期間中に返却された場合、4/1 以降の配送便で配送。この場合、返却処理が行われた日から大学図書館に配送されるまでの間、資料状態は「配送中」となります。

2. 工事期間中にも利用可能なサービス一覧

貸出中資料の返却	東1号館ブックポスト(地図参照)に返却。
貸出中資料への予約*	受取館は大学図書館のみ指定可。 休館期間中に返却された場合、資料の受け取りは4/1～4/3。
東1号館書庫資料の閲覧・貸出・複写	大学図書館利用規則で定められた範囲内の利用。
東1号館書庫への入庫	
所蔵調査・事項調査	コンピュータで検索できる範囲のみ(参考図書を利用した調査はできません)。
紹介状の発行	閲覧希望日の2～3日前までに申し込むこと。
文献複写・相互貸借の申込	院生はMy GLIMからも申込可能。

※ 東1号館臨時カウンター(地図参照)で対応。2/2～3/27(入試期間・卒業式を除く)
平日8:50～16:30 土曜8:50～12:00。

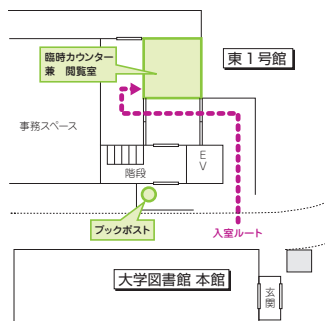
*) 大学図書館の貸出中資料への予約: 工事期間中に返却された場合、資料の受け取り期間は4/1～4/3。ただし、返却処理が行われた日に予約資料到着メールは先行送信されます。

臨時カウンター・返却ポスト地図

サービス内容、臨時カウンター開室日・時間等の詳細は大学図書館ホームページにて確認してください。

大学図書館ホームページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/>





学芸員資格取得事務局

●平成20年度「博物館学芸員資格取得者」の発表

平成20年度の博物館学芸員資格取得者の発表は平成21年3月10日頃に掲示にて発表いたします。

●「博物館学芸員資格取得証明書」の交付

平成20年度に博物館学芸員資格を取得した者に対して、「博物館学芸員資格取得証明書」を下記のとおり交付します。

日 時 平成21年3月20日(金)

午前10時～午後2時まで

場 所 学芸員資格取得事務局(史料館内)

■大学院生、科目等履修生についても3月20日以降に学芸員資格取得事務局において交付します。

※他大学で一部単位を取得した人についても、科目履修登録の際に必要な書類をすべて提出した人には交付します。

■当日、博物館実習記録を返却いたします。



史料館

●写真集刊行と販売のお知らせ

「ピラミッド校舎」の愛称で親しまれてきた中央教室は、平成20年5月、惜しまれながら解体されました。設計は、日本を代表する建築家前川國男氏で、その独特な形状は、「ウルトラセブン」(円谷プロダクション、1967年放映)の第29話「一人ぼっちの地球人」にも登場し、多くの人に知られています。

このたび史料館では、カメラマン小城崇史氏に撮影を依頼、ピラミッド校舎の写真集を刊行しました。各頁下には、固定カメラで撮影した連続写真を掲載し、パラパラと頁を捲るとアニメーションのように解体過程を見ることが出来ます。また、建物の現況図面(平面図・立面図・断面図)もあわせて掲載していますので、前川國男作品の記録としても興味深い内容となっています。

一般書店では販売をしておりません。お買い求めは、史料館事務局までどうぞ。

『学習院キャンパス写真集

ピラミッド校舎の記憶

ー 前川國男作品・中央教室

(学習院大学史料館刊、1,000円)



保健室 だより

平成21年度定期健康診断実施について(新入学生は、別の日程表参照のこと)

定期健康診断を、表の日程により実施します。年に一度は健康チェックをしましょう。

注 意 事 項

- 各自持参のTシャツを着衣してください。無地であれば色は問いません。(刺しゅう、プリントなど飾りのないもの)
- ネックレス、口紅、マニキュアなどは遠慮してください。
- 長い髪は留め具などで上にあげてください。
- メガネ、コンタクトレンズ使用者は、矯正視力のみを測定します。
- 受診時は携帯電話の電源を切ってください。電磁波の影響により検査機器が誤作動することがあります。
- 健康診断後、再検査が必要な方には6月末までに封書等でご連絡いたします。
- 健診期間中、指定された日時に受けられない場合は他の日時に受けてください。
- 健診期間中受けられなかった場合は、医療機関で別表の検査項目を受け、保健室に提出してください。
- 健康診断の未受診者、または学年で指示された項目を受けなかった場合は健康診断証明書の発行はできません。
- スポーツ・健康科学Ⅲb野外コース(キャンプ・サイクリング・ゴルフ・トレッキング・スキー)履修者は、集中授業直前に健康診断(スポーツ健診)を実施しますが、原則として4月の定期健康診断を受けていることが前提となります。

●●平成21年度定期健康診断実施日程●●

日 程	4/1(水)	4/2(木)	4/3(金)	4/4(土)	4/6(月)	4/7(火)
	女 子	男 子	男 子	女 子	女 子	男 子
対 象 学 生	4年生 専門職大学院 (研修生) (研究生) 含	4年生 専門職大学院 (研修生) (研究生) 含	2・3年生	2・3年生 9:00 法・史 10:00 政・日 11:00 哲・英 13:00 済・物・化・数 14:00 仏・心 15:00 営・独	新入学生 (学部1年生) 大学院生 前期・後期	新入学生 (学部1年生) 大学院生 前期・後期
	※編入学生、再入学生、転部・転科生は、該当学年で受けてください。					
	※研究生、委託生、科目等履修生は保健室へお問い合わせください。					
	※学年指定日に受けられない場合は、健診期間中、他学年の日時に受けてください。					
	※4/4(土) 2・3年生女子:混雑緩和のため学科ごと、時間を区切らせていただきます。					
時 間	受付 ●午前9時～午後3時30分(昼休みも受付いたします) ※4/3(金)のみ午後3時で終了					
順 序	①西5号館B1教室集合 ②受付で学生証提示 ③更衣→1F学生ホールへ ④1F学生ホール→下記の諸検査を受ける			新入学生(学部1年生) 西5号館201・202・303教室にてガイダンス (新入学生行事日程表参照)		
項 目	【4年生・大学院生・専門職大学院】身長・体重・視力・血圧・胸部X線・内科診察(簡易聴力) 【2・3年生】身長・体重・血圧・胸部X線・内科診察 【1年生】身長・体重・血圧・胸部X線・尿検査・内科診察(簡易聴力) 【編入学生、再入学生、転部・転科生】当該学年の項目を受けてください。 ※内科診察時、医師から指示があった場合のみ心電図検査があります。					
摘 要	※健康診断を受けるには学生証が必要になります。必ず携帯してください。 ●健康診断は必ず上記の日程内で受けるようにしてください。 ※ホームページのキャンパスライフの「健康管理」でも案内しています。					

注意

健康診断中の持物の紛失には、責任を負いかねますので、自己管理のもとに受診してください。

お知らせ

当該年度受診者全員に健康診断結果を1ヶ月以内に現住所へ郵送します。

AED

(自動体外式除細動器)を設置

- 西5号館1階受付
- 正門受付

◆平成20年度 修了式・卒業式の日程について◆

平成21年3月20日（金）

午前9時30分	● 人文科学研究科 ● 自然科学研究科 ● 文学部 ● 理学部
午前11時30分	● 法学研究科 ● 政治学研究科 ● 経済学研究科 ● 経営学研究科 ● 法務研究科（法科大学院） ● 法学部 ● 経済学部

◆平成21年度 入学式・保証人会の日程について◆

平成21年4月8日（水）

入学式 午前9時30分	● 法学研究科 ● 政治学研究科 ● 経済学研究科 ● 経営学研究科 ● 法務研究科（法科大学院） ● 法学部 ● 経済学部
保証人会 午前10時20分	
入学式 午後1時00分	● 人文科学研究科 ● 自然科学研究科 ● 文学部 ● 理学部
保証人会 午後1時50分	

課外活動レポート

アーチェリー部



皆さんはアーチェリーについてどの程度ご存知でしょうか？

「弓矢のことでしょ？」とか、「4年前のアテネオリンピックで山本博選手が銀メダルを獲得したやつでしょ？」と思う人も多いと思いますが、そう、まさにそれです！

あまりアーチェリーというスポーツに馴染みのない人のためにアーチェリーを簡単に説明すると、的の真ん中に矢を当てるだけ！！射つ距離、射つ場所は様々ですが基本はこれだけです。

厳密に言えば的には中心に近いほうから1～10点の得点がついており真ん中に刺さるほど点数が高いわけです。

説明するのはこんなに簡単なのに実際にやってみると実に奥が深いんです。ちゃんと的の中心を狙って射っているはずなのに矢が真ん中に飛んでいかないなんて日常茶飯事。なので選手はなぜ外したのか、などを常に考えながら練習しなければいけなかったりと意外に頭も使うスポーツなのです。

他にも色々なパーツを組み合わせで自分だけのセッティングを組んだり、自分に合わせて弓のチューニングを変えてみたりと、オタク心をくすぐる楽しみ方もあります。

一度凝り始めたらもう留まることを許しません。どこまでも的中やセッティングにこだわり始めます。アーチェリーのことしか考えられなくなります。それほど中毒性の高いスポーツ、言い換えればおもしろい競技なのです。

選手の多くが大学生になってからアーチェリーを始める人です。スタートラインはみんな一緒です。もちろん高校からやっている人もいますが、そういう経験者に未経験者が勝つこともできるのもこの競技の醍醐味でもあります。事実、大学から始めて1、2年でインカレ等の全国大会に出場した先輩方が何人もいらっしゃいました。頑張れば誰でも上手になれるんです！

私たちは今男子29人、女子23人で活動しています。大所帯ですが、チーム全員が同じ目標のため一致団結して日々練習しています。部員一人ひとりが皆にとって欠かすことのできない存在になっています。そんなかけがえのない仲間と出会いたいという方、是非アーチェリー部に顔を出してみてもいいでしょうか？私たちはいつでもお待ちしております。

主将／経済学科3年 佐久間 研

学生相談室

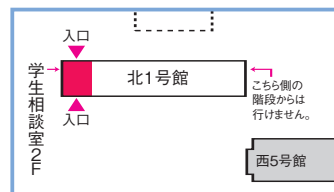
学年末休講・春季休業中の開室日
および開室時間について

【開室日】

下記の開室日を除き、平常通りに開室しています。

【開室時間】

- ・月～金曜日 9：30～17：00
- ・土曜日 9：30～12：30



* 図書の貸出等も通常通り

【閉室日】

- ・日曜・祭日
- ・入試期間2月7日（土）～2月10日（火）

【予約・問い合わせ】

Tel 03-3986-0221 内線2514

* ご相談は来室された時になるべく応じるようにはしておりますが、予約状況によってはお待ちすることもあります。事前に電話にて予約されることをおすすめします。

※次号の発行は4月になります。

学習院大学通信 COMPASS
第40号（在学生・保証人配付号）

2009年1月13日発行

◆編集発行◆

学習院大学学生部
東京都豊島区目黒1-5-1
Tel 03 (3986) 0221